



News Release

2023年2月16日

第33回 日本製鉄音楽賞 受賞者決定のお知らせ

第33回日本製鉄音楽賞の受賞者は、以下の通り決定しましたので、お知らせいたします。

第33回 日本製鉄音楽賞

《フレッシュアーティスト賞》副賞 300万円

務川 慧悟 むかわ けいご (ピアノ)

【贈賞理由】

超難関コンクールであるロン＝ティボー＝クレスパン国際、エリザベート王妃国際で上位入賞し、拠点のフランスはもとよりヨーロッパでの高評価は文字通り国際的ピアニストの証。古楽器にも造詣が深く、探究心を楽しむ想像力から生まれる音楽は、聴く者の知的好奇心をくすぐる。精緻な音質と豊潤な音色は唯一無二のもので、益々楽しみな新鋭である。
(上田弘子選考委員)

《特別賞》副賞 100万円

高木 裕 たかぎ ゆう (ピアノプロデューサー、ピアノ技術者)

【贈賞理由】

近年ヴィンテージピアノの楽器としての魅力が見直されてきたが、その先駆者としてピアノ音楽業界に大きな影響を与えた。リスト、ブラームス、ラフマニノフ等が作曲家として活躍した時代の、そしてその後の巨匠達が使用した銘器の数々を、極力オリジナルのままに、今なお生きた楽器として当時の音をステージから伝えている。
(江口玲選考委員)

なお、第33回日本製鉄音楽賞の贈呈は、2023年2月22日(水)に日本製鉄株式会社本社において行います。また、贈呈とは別に、受賞記念コンサートを、2023年7月に開催予定です。

Make Our Earth Green



NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative



NIPPON STEEL

第 33 回日本製鉄音楽賞 フレッシュアーティスト賞

務川 慧悟 むかわ けいご (ピアノ)

生年月日：1993 年 4 月 9 日 (29 歳) 出身：愛知県東海市

東京藝術大学 1 年在学中の 2012 年、第 81 回日本音楽コンクール第 1 位受賞を機に本格的な演奏活動を始めます。

2014 年パリ国立高等音楽院に審査員満場一致の首席で合格し渡仏。パリ国立高等音楽院、第 2 課程ピアノ科、室内楽科を修了し、第 3 課程ピアノ科 (Diplôme d'artiste interprète)、同音楽院フォルテピアノ科に在籍。

2019 年ロン＝ティボー＝クレスパン国際コンクールにて第 2 位入賞。

2015 年エピナル国際ピアノコンクール (フランス) 第 2 位。2016 年イル・ドゥ・フランス国際ピアノコンクール (フランス) 第 2 位。コープ・ミュージック・アワード国際コンクール (イタリア) ピアノ部門第 1 位、各部門優勝者によるファイナルにて第 2 位、聴衆賞を受賞。2018 年秋に開催された第 10 回浜松国際ピアノコンクールにおいて第 5 位を受賞。2021 年、エリザベート王妃国際音楽コンクール第 3 位。

2017 年シャネル・ピグマリオン・デイズのアーティストに選出され「ラヴェルピアノ作品全曲演奏」をテーマに 6 回のリサイタルを開催。

これまでに、日本各地、フランス、スイス、上海、ラトビア、イタリアにて演奏会を開催のほか、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、藝大フィルハーモニア、セントラル愛知交響楽団、愛知室内オーケストラ、中部フィルハーモニー交響楽団、NHK 名古屋青少年交響楽団、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ、フランスにてロレーヌ国立管弦楽団と共演。室内楽においては、チェロの木越洋氏、長谷川陽子氏、ヴァイオリンの篠崎史紀氏、大谷康子氏、石田泰尚氏、等と共演。テレビ、ラジオでは、NHK-FM “リサイタル・ノヴァ” “ベストオブクラシック”、NHK-E テレ “さらさらサラダ” “ららら クラシック” 等に出演。

日本、ヨーロッパを拠点に幅広く演奏活動を行うと共に、『ピアノの本』において留学記、ヤマハ HP にてコラムを連載するなど、多方面で活動している。

2012、13、14 年度ヤマハ音楽振興会音楽支援奨学生。2015 および 16 年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。2017 年度公益財団法人江副記念財団奨学生。

フランク・ブラレイ、上田晴子、ジャン・シュレム、パトリック・コーエン、横山幸雄、青柳晋の各氏に師事。

オフィシャル・ウェブサイト <https://keigomukawa.com>

*1 エリザベート王妃国際コンクール 1951 年からベルギー首都ブリュッセルで 4 年ごとに開催。世界三大コンクールで最も歴史が古い。

*2 ロン＝ティボー＝クレスパン国際コンクール 1943 年発足。フランス・パリで 4 年ごとに開催。



Make Our Earth Green



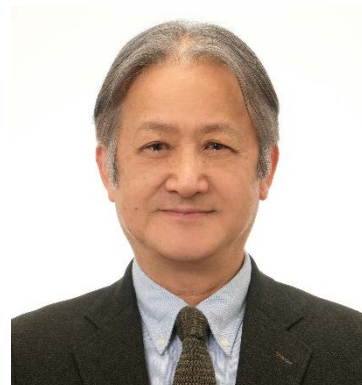
NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative

第 33 回日本製鉄音楽賞 特別賞

高木 裕 たかぎ ゆう (ピアノプロデューサー、ピアノ技術者)

生年月日：1952 年 12 月 16 日 (70 歳) 出身：三重県尾鷲市

ニューヨークにてスタインウェイ&サンズ本社の研究開発コンサルタント兼調律技術統括マネージャーであったウィリアム・ガーリック氏とフランツ・モア氏 (ホロヴィッツ、ルービンシュタインの調律担当) に師事。コンサート・チューナーとして、著名アーティストのコンサートや、レコーディングを数多く手掛けている。1992 年にニューヨークのスタインウェイ本社コンサート部の形態を日本に導入し、自社所有コンサートグランドピアノにアーティストが望む調律を施してからステージに持ち込むスタイルを開始。これにより、現場にあるピアノで最大限の努力をしようとする昨今の形式から技術者とピアニストが理想とするコンサートやレコーディングが可能となり、すでに全国で 7000 回を超えるステージを展開。日本唯一最大のコンサート&アーティスト部に成長した。ピアニストを支える良きパートナーとして、常にピアノを最高の状態で保持・提供するという理想を追求している。



2004 年、洋泉社より『スタインウェイ戦争』(共著)、2010 年 11 月、朝日新書より『調律師、至高の音をつくる』を出版、朝日新聞の天声人語に引用される。

2013 年、日経プレミア新書より『今のピアノでショパンは弾けない』、2019 年音楽之友社より『ホロヴィッツ・ピアノの秘密』を出版。

『音楽の友』誌に 3 年にわたって連載を執筆。テレビ朝日「徹子の部屋」「題名のない音楽会」などにゲスト出演。全国で講演、レクチャーコンサートなど多数に出演。

Make Our Earth Green



NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative

日本製鉄音楽賞

Nippon Steel Music Awards

日本製鉄音楽賞（旧称・新日鉄音楽賞、2012（平成24）年10月より新日鉄住金音楽賞、2019年4月1日より現行に改称）は、1990（平成2）年に旧新日鉄創立20周年と、同社が提供してきた「新日鉄コンサート」放送35周年を記念して設けられた音楽賞です。この賞を通して、日本の音楽文化の発展と、将来を期待される音楽家の方々の一層の活躍を支援することを目的としています。

【賞の概要】

フレッシュアーティスト賞 [賞状/副賞 300万円]

将来を期待される優れたアーティストを対象とした賞。

選考方針としては、技術のみにかたよらず、音楽性、将来性を重視し、広い範囲から選出。その年の最優秀者を決定し、賞を贈る。

特別賞 [賞状/副賞 100万円]

クラシック音楽をベースにした活動を行っている個人を対象とした賞。

幅広いジャンルのなかから、演奏会を支えるなど音楽文化の発展に大きな貢献を果たした方に対して、賞を贈る。

【選考委員】

寺西 基之（音楽評論家）

上田 弘子（音楽評論家）

山野 雄大（音楽評論家）

江口 玲（ピアニスト・東京藝術大学教授）

山崎 伸子（チェリスト・桐朋学園大学特任教授・東京藝術大学名誉教授）

日本製鉄株式会社

日本製鉄音楽賞運営事務局

（公益財団法人 日本製鉄文化財団 受託事業）

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号

電話 03-5276-4500（代表） FAX 03-5276-4527

Make Our Earth Green



NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative

日本製鉄音楽賞（旧・新日鉄音楽賞／新日鉄住金音楽賞） 歴代受賞者

第1回（1990年度）	フレッシュアーティスト賞／諏訪内晶子(ヴァイオリン) 特別賞／松本美和子(ソプラノ)
第2回（1991年度）	フレッシュアーティスト賞／長谷川陽子(チェロ) 特別賞／宮崎隆男(ステージ・マネージャー)
第3回（1992年度）	フレッシュアーティスト賞／服部譲二(ヴァイオリン) 特別賞／田中希代子(ピアノ)
第4回（1993年度）	フレッシュアーティスト賞／田部京子(ピアノ) 特別賞／千葉馨(ホルン)
第5回（1994年度）	フレッシュアーティスト賞／本名徹次(指揮) 特別賞／森島英子(オペラ・コレペティトール)
第6回（1995年度）	フレッシュアーティスト賞／菅英三子(ソプラノ) 特別賞／三浦尚之(ミュージック・フロム・ジャパン代表)
第7回（1996年度）	フレッシュアーティスト賞／川本嘉子(ヴィオラ) 特別賞／鶴田昭弘(ピアノ調律師)
第8回（1997年度）	フレッシュアーティスト賞／樫本大進(ヴァイオリン) 特別賞／小川昂(音楽史料研究家)
第9回（1998年度）	フレッシュアーティスト賞／横山幸雄(ピアノ) 特別賞／吉井實行(仙台フィルハーモニー管弦楽団事務局長)
第10回（1999年度）	フレッシュアーティスト賞／佐藤美枝子(ソプラノ) 特別賞／瀧淳(アート・マネージャー)
第11回（2000年度）	フレッシュアーティスト賞／木村大(ギター) 特別賞／永田穂(永田音響設計 特別顧問)
第12回（2001年度）	フレッシュアーティスト賞／高木綾子(フルート) 特別賞／伊藤京子(別府アルゲリッチ音楽祭総合プロデューサー)
第13回（2002年度）	フレッシュアーティスト賞／小菅優(ピアノ) 特別賞／杉理一(ニューオペラ・プロダクション代表)
第14回（2003年度）	フレッシュアーティスト賞／天羽明恵(ソプラノ) 特別賞／井阪紘(音楽プロデューサー)
第15回（2004年度）	フレッシュアーティスト賞／植村理葉(ヴァイオリン) 特別賞／栗山昌良(演出家)
第16回（2005年度）	フレッシュアーティスト賞／木下美穂子(ソプラノ) 特別賞／青木十良(チェロ)
第17回（2006年度）	フレッシュアーティスト賞／下野竜也(指揮者) 特別賞／村上輝久(ピアノ調律師)
第18回（2007年度）	フレッシュアーティスト賞／上原彩子(ピアノ) 特別賞／木之下晃(写真家)
第19回（2008年度）	フレッシュアーティスト賞／クアルテット・エクセルシオ(弦楽四重奏) 特別賞／金山茂人(財団法人東京交響楽団理事・最高顧問)
第20回（2009年度）	フレッシュアーティスト賞／河村尚子(ピアノ) 特別賞／青木賢児(財団法人宮崎県立芸術劇場 理事長)
第21回（2010年度）	フレッシュアーティスト賞／長原幸太 (ヴァイオリン・大阪フィルハーモニー交響楽団首席コンサートマスター [当時]、 現読売日本交響楽団コンサートマスター) 特別賞／豊田耕兒(ヴァイオリン・社団法人 才能教育研究会芸術監督)
第22回（2011年度）	フレッシュアーティスト賞／萩原麻未(ピアノ) 特別賞／室井摩耶子(ピアノ)
第23回（2012年度）	フレッシュアーティスト賞／松田理奈(ヴァイオリン) 特別賞／栗本尊子(メゾ・ソプラノ)
第24回（2013年度）	フレッシュアーティスト賞／福士マリ子(ファゴット) 特別賞／岩崎淑(ピアノ)

Make Our Earth Green



NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative

- 第 25 回 (2014 年度) フレッシュアーティスト賞／岡本侑也(チェロ)
特別賞／ひのまどか(音楽作家)
- 第 26 回 (2015 年度) フレッシュアーティスト賞／三浦友理枝(ピアノ)
特別賞／山田正幸(ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭事務局チーフ・プロデューサー)
- 第 27 回 (2016 年度) フレッシュアーティスト賞／服部百音(ヴァイオリン)
特別賞／小栗哲家(プロデューサー・舞台監督・技術監督)
- 第 28 回 (2017 年度) フレッシュアーティスト賞／景山梨乃(ハープ)
特別賞／該当者なし
- 第 29 回 (2018 年度) フレッシュアーティスト賞／葵トリオ(ピアノ三重奏団)
特別賞／林喜代種(舞台写真家)
- 第 30 回 (2019 年度) フレッシュアーティスト賞／大西宇宙(バリトン)
特別賞／小林道夫(清里音楽祭創設・音楽監督、ゆふいん音楽祭音楽アドバイザー、
ピアニスト、チェンバリスト)
- 第 31 回 (2020 年度) フレッシュアーティスト賞／川口成彦(フォルテピアノ)
特別賞／猪狩光弘(ステージ・マネージャー)
- 第 32 回 (2021 年度) フレッシュアーティスト賞／佐藤晴真(チェロ)
特別賞／広渡 勲(プロデューサー、演出家)
- 第 33 回 (2022 年度) フレッシュアーティスト賞／務川慧悟(ピアノ)
特別賞／高木 裕(ピアノプロデューサー、ピアノ技術者)

Make Our Earth Green



NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative